第77回ソフィア祭

多彩な企画で来場者を魅了

第77回ソフィア祭（学園祭）が、11月1日の前夜祭から4日にかけて開催された。今年のテーマは〝BUMP〟。「在学生、卒業生、ゲストや来場者など、ソフィア祭に関わる全ての人々の想いや個性がぶつかり合い、心揺さぶられるような学園祭をつくりあげたい」というソフィア祭実行委員の熱意のもと開催され、学内は大いに賑わった。

学内は多くの来場者で賑わった

1日の前夜祭では、上智ナンバー1の歌声を決めるカラオケバトルや課外活動団体によるサークルライブの他、学生がモデルとして出演するファッションショーなど、熱気溢れるパフォーマンスが行われた。フィナーレには、SNSを中心に絶大な人気を集めるバンド「ねぐせ。」が特別ライブを行い、ソフィア祭の開幕を盛り上げた。

「Sophian's　Contest」ファイナリストの5人

2日から4日の本祭では2つのメインイベントが行われた。一つは「Sophian's Contest」。ファイナリストの5人が自身の魅力のPRや、社会課題に対する考え方を発信するインフルエンサーとしての活動を競い合った。グランプリは、「SNSで持続可能な地方創成を」をテーマに発信した大塚健人さん（外独4）が受賞した。

もう一つは、昨年も好評を博した「Sophian's Got Talent」。「上智大学から未来のスターを発掘しよう」というコンセプトのもと、6組のファイナリストたちが、歌、ダンス、ジャグリング、バンドパフォーマンスといったそれぞれの特技を披露した。観覧エリアからは手拍子や拍手などが起こり、出演者と観客が一体となってステージを楽しむ様子が見られた。

その他、本学卒業生でロッテベンチャーズ・ジャパン代表取締役社長の澤田貴司氏（81年理物卒）による講演会や、NHK朝ドラ俳優福原遥さんのトークショー、高校生向けの模擬授業・入試相談会などのさまざまな企画が行われた。

閉祭式では、オンライン投票による各企画の受賞者発表や表彰なども行われ、盛況のうちに幕を閉じた。

ひと

大切な想いをアートで形に残す

ビジネスを立ち上げ

芸術に、心を救われた―。そう話すのは、今年1月に、だれもがアーティストにオリジナル作品制作をオーダーできる会社を立ち上げた水口莉里花さん（文新4）だ。水口さんが立ち上げた株式会社ConnecTAは、芸術分野で活動するアーティストが個人や企業からの依頼を受け、1点ものの作品を作り上げる事業を展開している。

「子どもの命名書を書道家が書いたり、結婚式の音楽を作曲家や演奏家が作ったり、亡くなったペットの絵を画家に依頼したりと、さまざまな場面で人の心に寄り添うオリジナル作品を生み出すお手伝いをしています」

水口さんが芸術に心惹かれ始めたのは15歳、精神的に辛いことが重なった高校生の時だった。両親が離婚し、家にいるのが息苦しくなった時期に美術館などに出かけていたという。独創的かつ自由な感性で描かれた絵画、技巧を凝らした繊細な造形を目にすると不思議と心が軽くなった。

水口　莉里花さん

「アートの本質に出会えた瞬間でした。誰かが心を込めて作ったものが、誰かの心を救い、豊かにする。アートの世界で生きていきたい、そのような気持ちが湧いてきました」

芸術に対する憧れを抱きつつも、広告クリエイティブを学びたいとの想いで、20年春に文学部新聞学科に進学。表現技法やリテラシーなど、アカデミックな側面からアートと向き合った。

「ゼミでドキュメンタリー制作をするなかで、多様な人生観に出会いました。人が大切にしている想いに触れるたび、それを形として残すことができないかと思案していました。これが今の事業の原点になります」

彼女の生き方は、周囲の心も動かした。同じゼミに所属していた学生が、今度は彼女に密着してドキュメンタリー映像を制作しているという。

「大学の学びのなかでの大きな収穫は、未知のものに対して恐れや不安を小脇に抱えながらも本心でぶつかっていく度胸。偏見を捨て、フラットな視点を持つことで、いつ訪れるか分からないチャンスを掴むことができると思っています」

来年1月、ConnecTAは設立1周年を迎える。この1年、着実に事業の基盤を固めてきた一方、手探りのなかでの会社経営は大きな苦労も伴った。それでも「アートは人生を豊かにする」と信じ、事業拡大を見据える水口さんは笑顔で次のように語る。

「慣れない商談、資金運用、そして何より作品が依頼者とアーティストの幸せにつながっているかなど、不安な点を挙げればきりがありません。それでも、依頼者が感動している姿を見たときや、感謝の気持ちを伝えてくれたときは、大きなモチベーションになります。そして、応援してくれる仲間や、これまで心配をかけた母への恩返しの気持ちを胸に、世界中の人の手に素敵な作品を届けられたらと思っています」

音楽協議会主催

第47回音楽祭

600人を超える観客が来場

フィナーレはジブリメドレー

10月7日、江戸川区総合文化センターで、音楽協議会主催第47回音楽祭が開催された。音楽祭は、音楽協議会に所属する課外活動団体（全11団体）が一堂に会し、日頃の練習の成果を披露するコンサート。600人を超える観客が来場した。

今年のテーマは「Tutti」。イタリア語で「全て」を意味し、演者や観客を含む全ての人に楽しんでもらいたいという願いを込めた。

箏曲部の演奏で幕を開け、その後は各団体の単独ステージのほか、吹奏楽研究会、吹奏楽団、管弦楽団、室内合奏団、箏曲部、New Swing Jazz Orchestraの6団体が参加したジョイントステージの演奏で会場を魅了した。最後は総勢100人を超える有志メンバーが参加したグランドオーケストラのジブリメドレーで締めくくった。

音楽協議会会長で吹奏楽団に所属する丸山遥さん（文英3）は、「第47回音楽祭は、出演団体数において過去最大規模を誇るコンサートとなりました。音楽協議会に所属する団体同士の交流を活発にするため、音楽祭に全ての団体に参加してもらえるよう工夫しました」と話している。

ザビエルウイーク

テーマは大衆文化に溶け込むキリスト教

神父と学生によるパネルディスカッション

本学では、12月3日の聖フランシスコ・ザビエル祭に向けた1週間を「ザビエルウイーク」として、建学の精神とカトリックアイデンティティーを思い起こすための期間としている。今年度のテーマは「大衆文化に溶け込むキリスト教」。映画などの大衆文化・日常の中にあるキリスト教とは、という点に着目した。

課外活動団体のカトリック学生の会が企画し、11月27日から12月1日にかけてクルトゥルハイム聖堂を一般公開した。

12月1日には神学部の角田佑一助教、増田健講師、大西崇生講師、イエズス会の山内保憲神父、渡邊徹郎神父と学生によるパネルディスカッション「現代のフランシスコ・ザビエルと語る～いかにして若者文化を理解し、キリスト教を伝えるか?～」が開催された。聖フランシスコ・ザビエルの後継者として日本で福音宣教のために働く司祭たちが、いかに大衆（若者）文化と対話し、キリスト教を伝えるかを学生たちと語り合った。パネルディスカッション後には、神父である増田講師の司式によるザビエル祭記念ミサが行われた。

カトリック学生の会ザビエルウイーク実行委員長の井野利彩さん（神神2）は「ザビエルウイークのさまざまな企画を通じて、来場される方々が上智の建学の精神に思いをはせ、キリスト教に少しでも関心を持ってもらうきっかけになれば幸いです。オープンクルトゥルハイムやパネルディスカッション、ミサなどの企画はキリスト教に触れたことのない方にもわかりやすいように工夫しました」と話している。

外国語学部語劇祭

言語の魅力を演劇で表現

12月17日に外国語学部語劇祭が10号館講堂で開催される。語学力向上と日頃の学習成果を学内外に発表し、言語や異文化に興味を持ってもらうことを目的としている。

上演するのはフランス語学科・ドイツ語学科の2学科。各学科の教員による指導の下、学外の演劇講師の協力も得ながら練習を重ね舞台に臨む。

昨年の語劇祭

フランス語劇La Congèreの演目は『Cendrillon（シンデレラ）』。代表の照井結子さん（外仏2）は「実はフランス版のシンデレラは、一般的に知られているシンデレラとは内容が異なります。どちらにするか迷いましたが、今回は長く親しまれてきたディズニー版を取り上げました。キャストから裏方まで全ての役職を学生が担当し、人数や個性に合わせて配役やキャラクターの変更を行いました。日本語字幕を準備しているので多くの方にお楽しみいただけます」と話す。

上智ドイツ語学科語劇サークルは『Schneeweißchen und Rosenrot（雪白と紅薔薇）』を上演する。代表の黒住菜月さん（外独4）は「母国語でない言語で劇を作り上げることは、簡単なことではありません。メンバー全員、練習を重ねてきました。グリム童話の一つであるSchneeweißchen und Rosenrotは、2人の少女と、彼女たちの周りで繰り広げられるキャラクターたちとの関わり合いが魅力です。ぜひ、お越しください」と話している。

上演スケジュール・演目は表の通り。全編日本語の字幕付きのため、誰もが楽しめる。予約不要、入場無料。

日程	時間	団体名	演目	場所
12月17日（日）	11:45開場/12:00開演	フランス語劇団	Cendrillon（シンデレラ）	10号館講堂
	14:45開場/15:00開演	ドイツ語劇団	Schneeweißchen und Rosenrot（雪白と紅薔薇）	

※詳細は各団体のウェブサイト・SNSで発信
フランス語学科 Instagram：@la_congere、ドイツ語学科 ウェブサイト：https://dept.sophia.ac.jp/fs/german/news/